

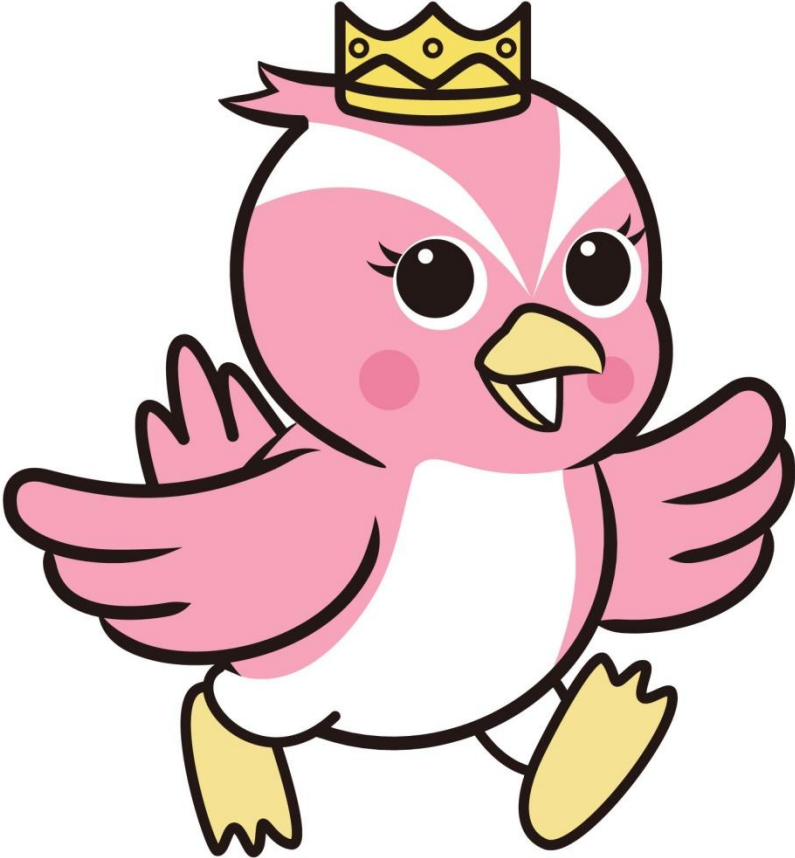
門川町の公共施設(建物)に関するアンケート
～今後の公共施設のあり方を検討していくために～

アンケート調査結果報告書



平成28年12月

門川町



目次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の対象者	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査時期	1
(5) 回収状況	1
(6) 標本誤差	1
(7) その他	1
2 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 居住校区	3
(4) 家族構成	3
3 調査結果	4
(1) 施設の老朽化について	4
(2) 施設の利用状況について	5
①町民文化系施設	6
②社会教育系施設	7
③スポーツ使節	8
④レクリエーション施設	9
⑤保健・福祉施設	10
⑥子育て支援施設	11
⑦行政系施設	12
⑧産業系施設	13
⑨その他	14
(3) 公共施設の整備について	15
(4) 施設改修の優先度について	17
(5) 今後の施設のあり方について	19
①施設の統廃合や複合化により、施設数を減らす	20
②近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	21
③施設を改修し、長期間利用できるようにする (長寿命化)	22
④民間に施設の管理・運営を委託する	23
⑤開館時間の短縮や一部のサービスの廃止などにより 施設の維持管理のコストを引き下げる	24
⑥施設の使用料を引き上げる	25
(6) 施設の統廃合、再編成について	26

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、門川町で保有する公共施設等の現状と課題を整理し、将来のあり方に関する基本方針を定め、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行っていくための「門川町公共施設等総合管理計画」を策定する際の基礎資料とするとともに、今後の公共施設のあり方を検討していくための資料とするために実施しました。

(2) 調査の対象者

門川町在住の 18 歳以上の方 1,000 人(無作為抽出)

(3) 調査方法

郵送による配布、回収

(4) 調査時期

平成 28 年 9 月 26 日 (月) から平成 28 年 10 月 14 日 (金) まで

(5) 回収状況

回収数：364 票 (回収率：36.4%)

(6) 標本誤差

本調査のように全体 (母集団) から一部を抽出して行う調査の場合、ここで示された数値 (%) をそのまま全対象者の回答として単純に置き換えると、多少の誤差を生じます (標本誤差)。そこで、次式により標本誤差を計算して、全対象者の回答を推測することが出来ます。

なお、標本誤差は、標本数 (n) 及び回答比率 (p) によって異なります。

たとえば「ある設問のうちのある回答比率が 50%であった場合、その回答比率には±5.18%程度の誤差がありうる」ことを示しています。つまり全対象者ではその回答比率は 44.82%から 55.18%内にあると推定されるということです。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

p = 回答比率

N = 母集団数 (14,981 人 : H27 国勢調査 18 歳以上)

回答比率	標本誤差
50%程度	±5.18%
60%または 40%程度	±5.07%
70%または 30%程度	±4.75%
80%または 20%程度	±4.14%
90%または 10%程度	±3.11%

(7) その他

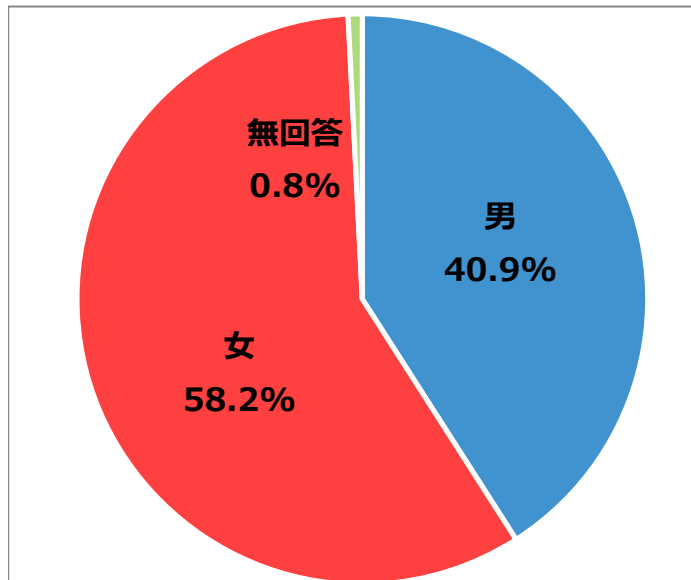
集計は小数点第 2 位を四捨五入しています。そのため集計表の構成比の合計が 100%と一致しない場合があります。また、構成比はその質問の回答者を基準にしています。そのため、複数回答の質問は比率を合計すると 100%を越える場合があります。

2 回答者の属性

(1) 性別

Q 1 あなたの性別はどちらですか。

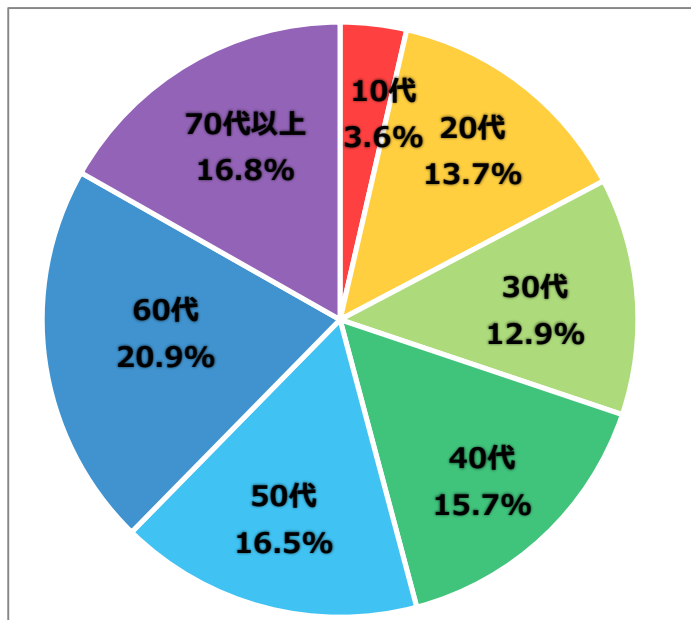
	件数	%
男性	149	40.9
女性	212	58.2
無回答	3	0.8
合計	364	100.0



(2) 年齢

Q 2 あなたの年齢は次のうちどれですか。

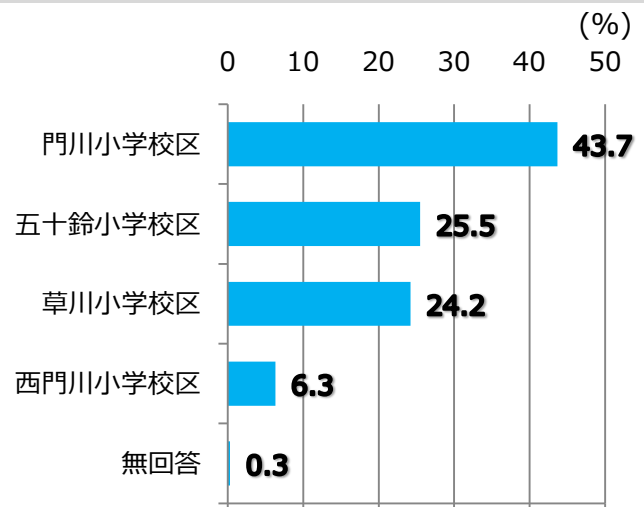
	件数	%
10 歳代	13	3.6
20 歳代	50	13.7
30 歳代	47	12.9
40 歳代	57	15.7
50 歳代	60	16.5
60 歳代	76	20.9
70 歳以上	61	16.8
合計	364	100.0



(3) 居住校区

Q3 あなたがお住まいの地域は次のうちどこですか。

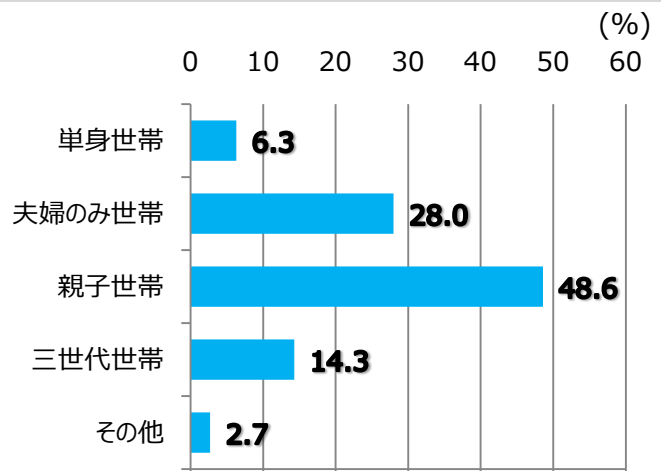
	件数	%
門川小学校区	159	43.7
五十鈴小学校区	93	25.5
草川小学校区	88	24.2
西門川小学校区	23	6.3
無回答	1	0.3
合計	364	100.0



(4) 家族構成

Q4 あなたの世帯は次のうちどれですか。

	件数	%
単身世帯 (一人暮らし)	23	6.3
夫婦のみ世帯 (一世代)	102	28.0
親子世帯 (二世帯)	177	48.6
三世帯世帯	52	14.3
その他	10	2.7
合計	364	100.0



その他の回答

- 四世代
 - 兄弟
 - グループホーム
- などがありました。

3 調査結果

(1) 施設の老朽化について

Q 5 近い将来、建替えが集中し、多大な費用が必要となることを知っていましたか。

近い将来、建替えが集中し、多大な費用が必要となることに対する認知率は 47.5%（知っていた 20.9%+聞いたことがある 26.6%）です。

性別にみると、女性より男性の方が認知率は高くなっています。

年齢別にみると、年代が高いほど認知率は高くなっています。

- ・知っていた・・・・・・・・・・ 20.9%
- ・聞いたことがある・・・・・・・・ 26.6%
- 認知率 47.5%**
- ・知らなかった・・・・・・・・・・ 50.8%

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
全 体		20.9	26.6	50.8	1.5		
性別	男	30.9	25.5	43.0	0.7		
	女	13.7	27.4	56.6	2.4		
年齢	10代	7.7	92.3				
	20代	8.0	16.0	76.0			
	30代	6.4	29.8	63.8			
	40代	24.6	24.6	50.9			
	50代	20.0	35.0	45.0			
	60代	26.3	31.6	36.8	5.3		
	70代以上	37.7	24.6	34.4	3.3		
居住校区	門川小学校区	22.0	20.1	55.3	2.5		
	五十鈴小学校区	17.2	35.5	46.2	1.1		
	草川小学校区	19.3	28.4	51.1	1.1		
	西門川小学校区	34.8	30.4	34.8			
家族構成	単身世帯	21.7	43.5	34.8			
	夫婦のみ世帯	34.3	22.5	38.2	4.9		
	親子世帯	14.7	27.1	58.2			
	三世帯世帯	17.3	23.1	59.6			
	その他	10.0	40.0	40.0	10.0		

■知っていた □聞いたことがある ■知らなかった ■無回答

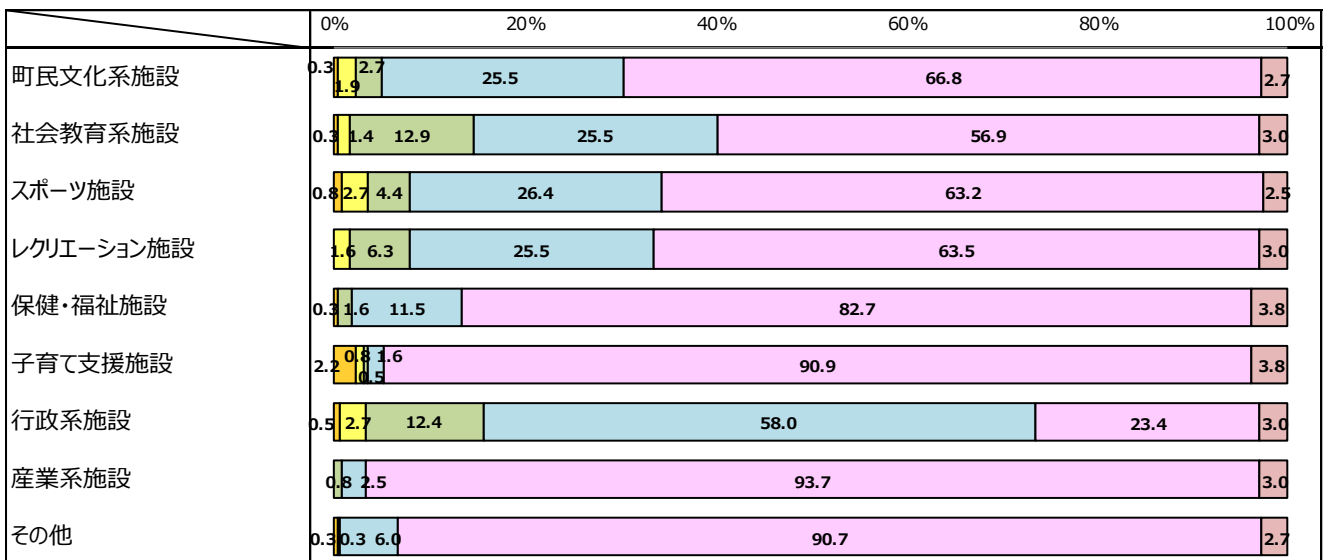
(2) 施設の利用状況について

Q6 公共施設についてどれくらいの頻度で利用しますか。

公共施設についてどれくらいの頻度で利用するかについて、町民が最も利用している施設（年に数回程度以上利用している施設）は「行政系施設」「社会教育系施設」「スポーツ施設」の順となっています。

【年に数回程度以上利用していると回答した割合】

- ・行政系施設・・・・・・・・・・・・・73.6%
- ・社会教育系施設・・・・・・・・・・・・・40.1%
- ・スポーツ施設・・・・・・・・・・・・・34.3%
- ・レクリエーション施設・・・・・・・・・・・・・33.4%
- ・町民文化系施設・・・・・・・・・・・・・30.4%
- ・保健・福祉施設・・・・・・・・・・・・・13.4%
- ・その他・・・・・・・・・・・・・6.6%
- ・子育て支援施設・・・・・・・・・・・・・4.3%
- ・産業系施設・・・・・・・・・・・・・3.3%



■ ほぼ毎日 ■ 週に数回程度 ■ 月に数回程度 ■ 年に数回程度 ■ ほとんど利用しない ■ 無回答

施設類型一覧

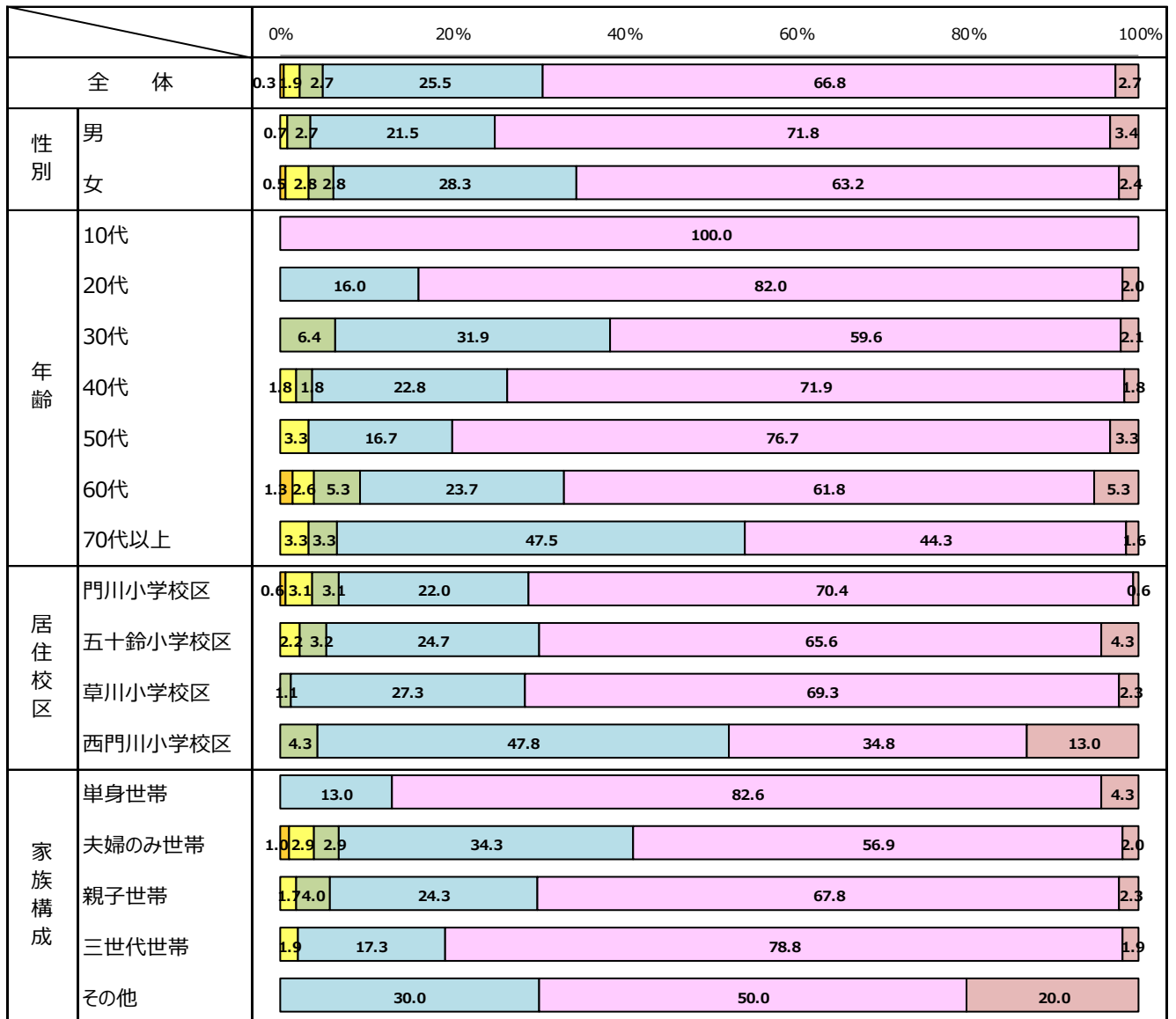
町民文化系施設	中央公民館、平城団地集会所、宮ヶ原教育集会所、総合文化会館、西門川総合活性化センター、
社会教育系施設	町立図書館
スポーツ施設	武道館、勤労者総合福祉センター「クリエイティブセンター」、勤労者体育センター「宮ヶ原」、海浜総合公園
レクリエーション施設	福祉健康交流研修センター「心の杜」、乙島キャンプ場
保健・福祉施設	門川町総合福祉センター
子育て支援施設	子育て人づくりセンター、平城保育所、西門川児童館
行政系施設	門川町役場
産業系施設	五十鈴農産加工センター
その他	防災ダム管理施設トイレ、保井ヶ浜公衆便所、上井野健康広場公衆トイレ、旧五十鈴保育所

【類型別の状況】

①町民文化系施設（中央公民館、平城団地集会所、宮ヶ原教育集会所、総合文化会館
西門川総合活性化センター）

年に数回程度以上利用している利用率は、30.4%となっています。
性別にみると、男性より女性の方が利用率は高くなっています。
年齢別にみると、70代以上の利用率が高く、10代はほとんど利用していません。
居住校区别にみると、西門川小学校区の利用率が高くなっています。
家族構成別にみると、単身世帯の利用率が低くなっています。

- ・ ほぼ毎日 0.3%
 - ・ 週に数回程度 1.9%
 - ・ 月に数回程度 2.7%
 - ・ 年に数回程度 25.5%
- 利用率 30.4%**
- ・ ほとんど利用しない 66.8%

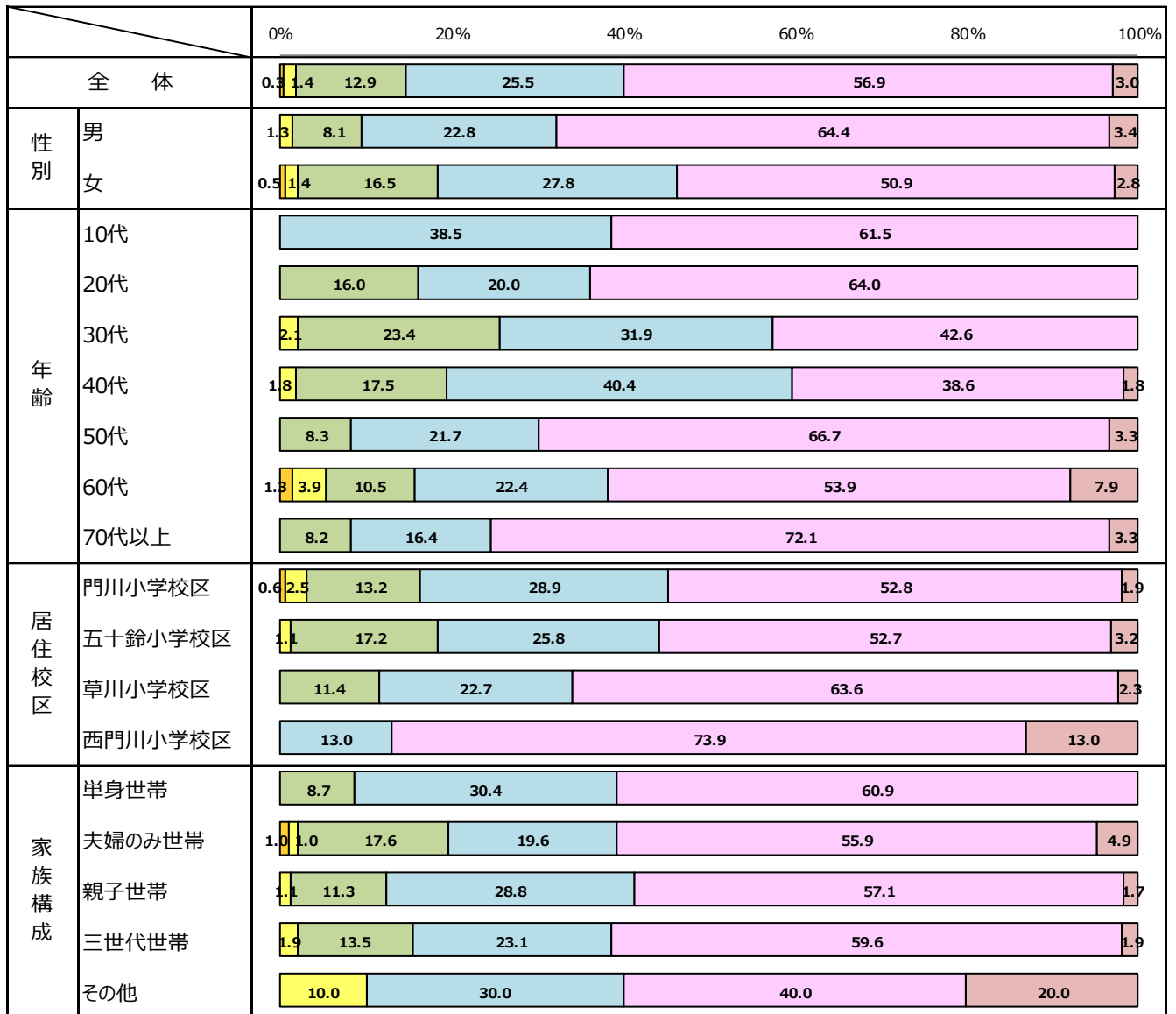


■ ほぼ毎日 ■ 週に数回程度 ■ 月に数回程度 ■ 年に数回程度 ■ ほとんど利用しない ■ 無回答

②社会教育系施設（町立図書館）

年に数回程度以上利用している利用率は、40.1%となっています。
 性別にみると、男性より女性の方が利用率は高くなっています。
 年齢別にみると、30代、40代の利用率が高くなっています。
 居住校区別にみると、西門川小学校区の利用率が低くなっています。
 家族構成別にみると、同程度の利用率となっています。

- ・ ほぼ毎日 0.3%
 - ・ 週に数回程度 1.4%
 - ・ 月に数回程度 12.9%
 - ・ 年に数回程度 25.5%
- 利用率 40.1%**
- ・ ほとんど利用しない 56.9%

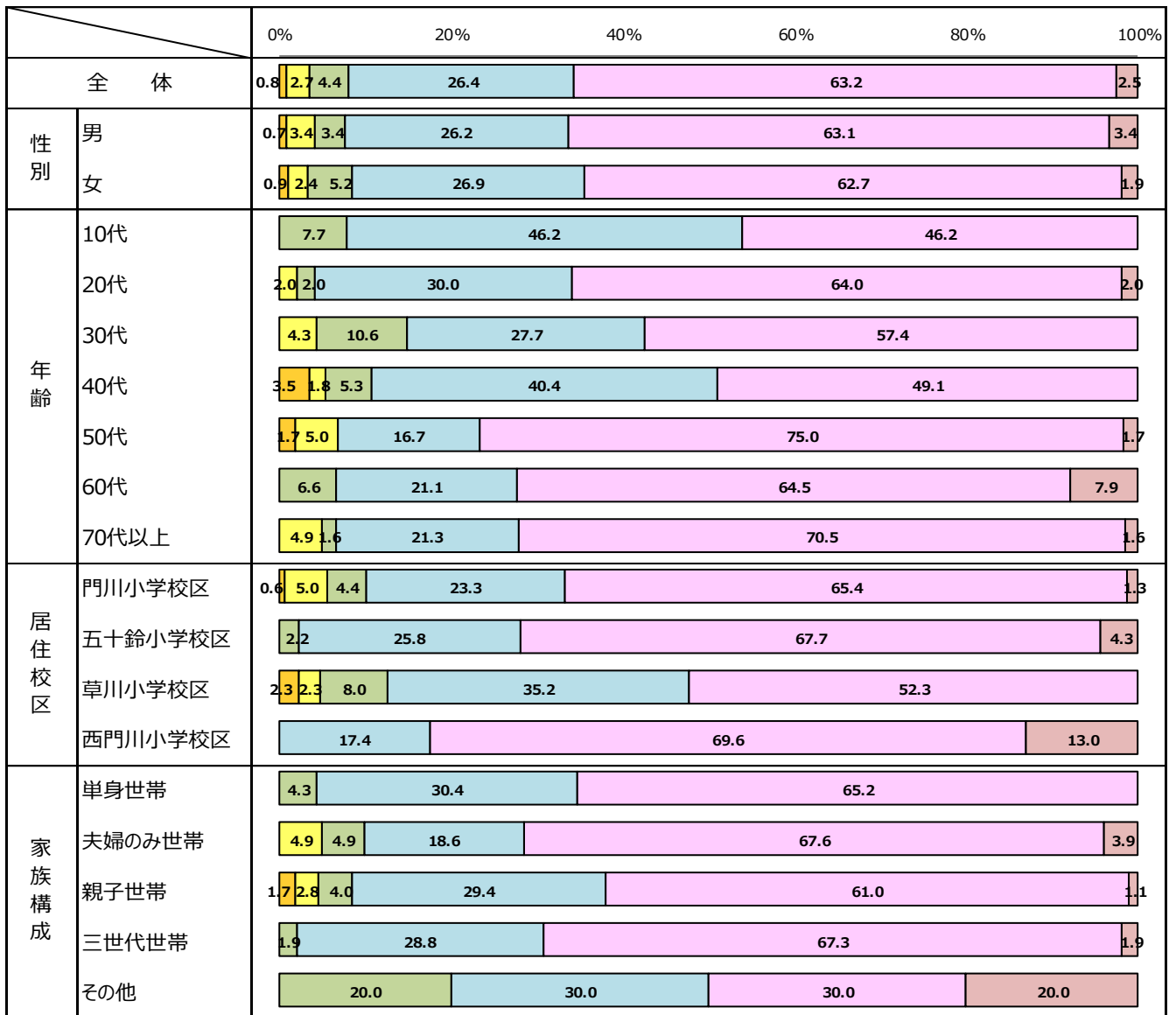


■ ほぼ毎日
 ■ 週に数回程度
 ■ 月に数回程度
 ■ 年に数回程度
 ■ ほとんど利用しない
 ■ 無回答

③スポーツ施設（武道館、勤労者総合福祉センター「クリエイティブセンター」、勤労者体育センター「宮ヶ原」、海浜総合公園）

年に数回程度以上利用している利用率は、34.3%となっています。
 性別にみると、男性より女性の方が利用率は高くなっています。
 年齢別にみると、10代、40代の利用率が高くなっています。
 居住校区別にみると、草川小学校区の利用率が高くなっています。
 家族構成別にみると、その他と親子世帯の利用率が高くなっています。

- ・ ほぼ毎日 0.8%
 - ・ 週に数回程度 2.7%
 - ・ 月に数回程度 4.4%
 - ・ 年に数回程度 26.4%
- 利用率 34.3%**
- ・ ほとんど利用しない 63.2%

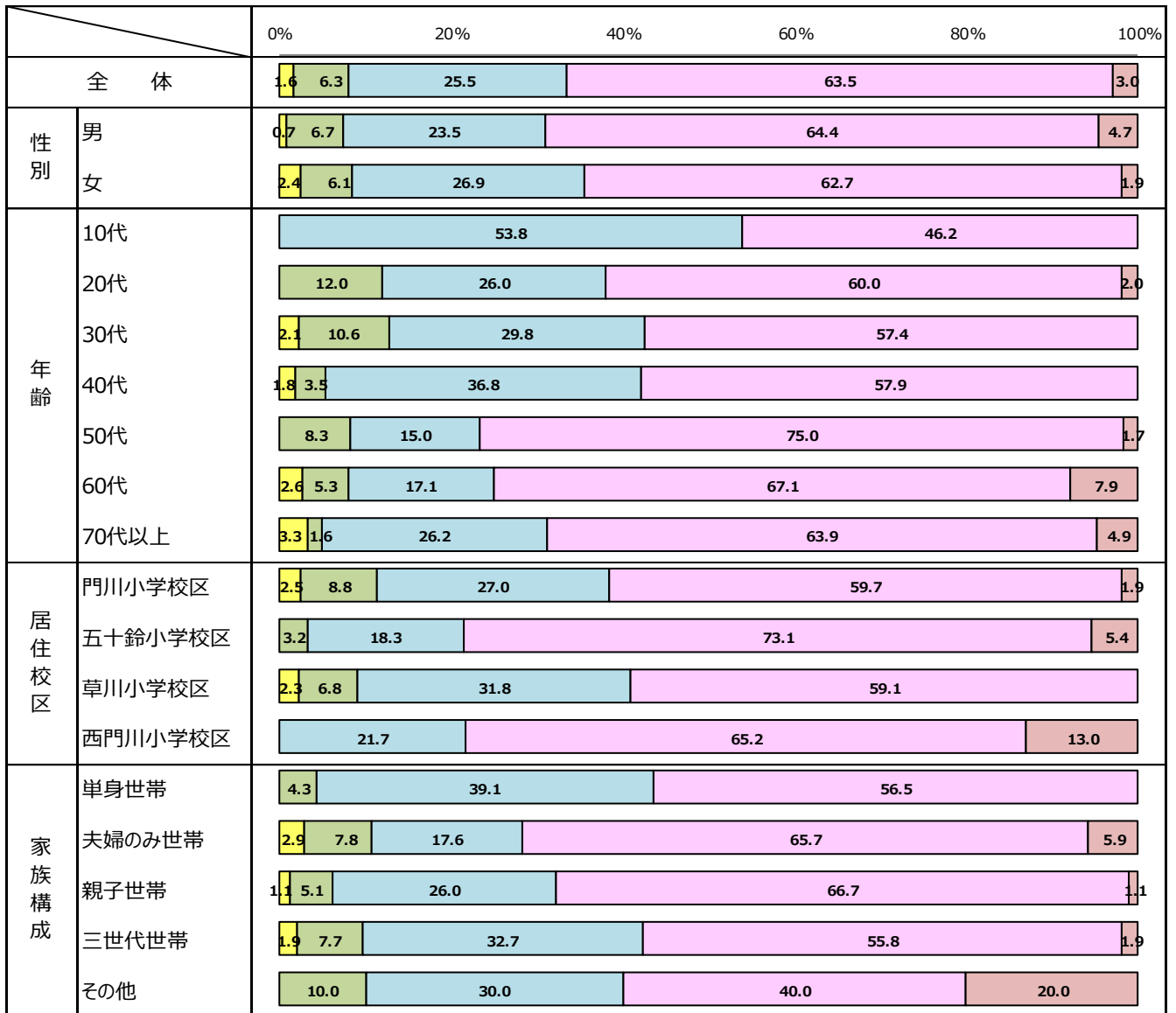


■ ほぼ毎日 ■ 週に数回程度 ■ 月に数回程度 ■ 年に数回程度 □ ほとんど利用しない □ 無回答

④レクリエーション施設（福祉健康交流研修センター「心の杜」、乙島キャンプ場）

年に数回程度以上利用している利用率は、33.4%となっています。
 性別にみると、男性より女性の方が利用率は高くなっています。
 年齢別にみると、10代の利用率が最も高くなっています。
 居住校区別にみると、草川小学校区と門川小学校区の利用率が高くなっています。
 家族構成別にみると、単身世帯と三世帯世帯の利用率が高くなっています。

- ・ ほぼ毎日 0.0%
 - ・ 週に数回程度 1.6%
 - ・ 月に数回程度 6.3%
 - ・ 年に数回程度 25.5%
- 利用率 33.4%**
- ・ ほとんど利用しない 63.5%

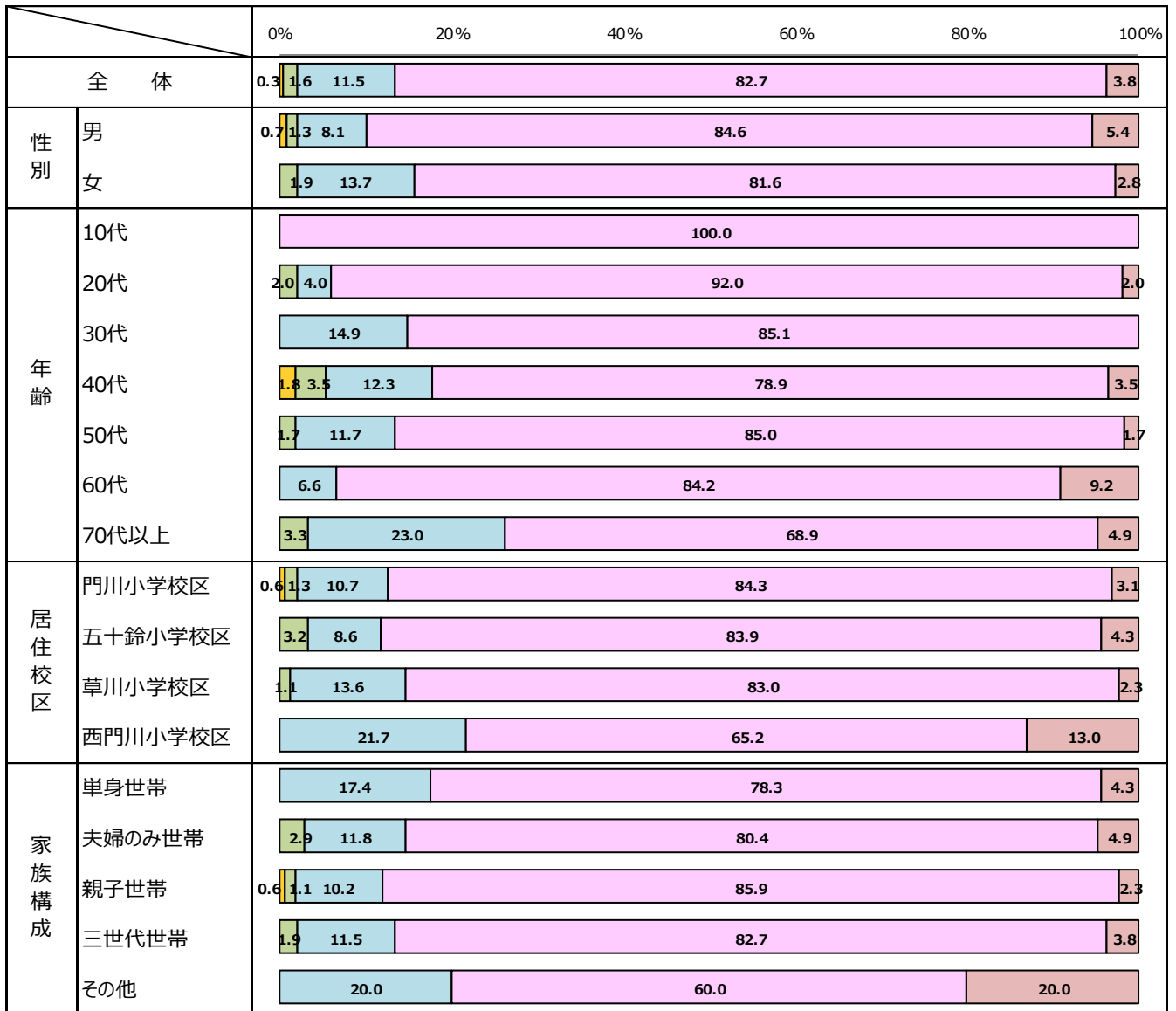


■ ほぼ毎日 ■ 週に数回程度 ■ 月に数回程度 ■ 年に数回程度 ■ ほとんど利用しない ■ 無回答

⑤保健・福祉施設（門川町総合福祉センター）

年に数回程度以上利用している利用率は、13.4%となっています。
 性別にみると、男性より女性の方が利用率は高くなっています。
 年齢別にみると、70代以上の利用率が高く、10代はほとんど利用していません。
 居住校区別にみると、西門川小学校区の利用率が高くなっています。
 家族構成別にみると、その他と単身世帯の利用率が高くなっています。

- ・ ほぼ毎日 0.3%
 - ・ 週に数回程度 0.0%
 - ・ 月に数回程度 1.6%
 - ・ 年に数回程度 11.5%
- 利用率 13.4%**
- ・ ほとんど利用しない 82.7%

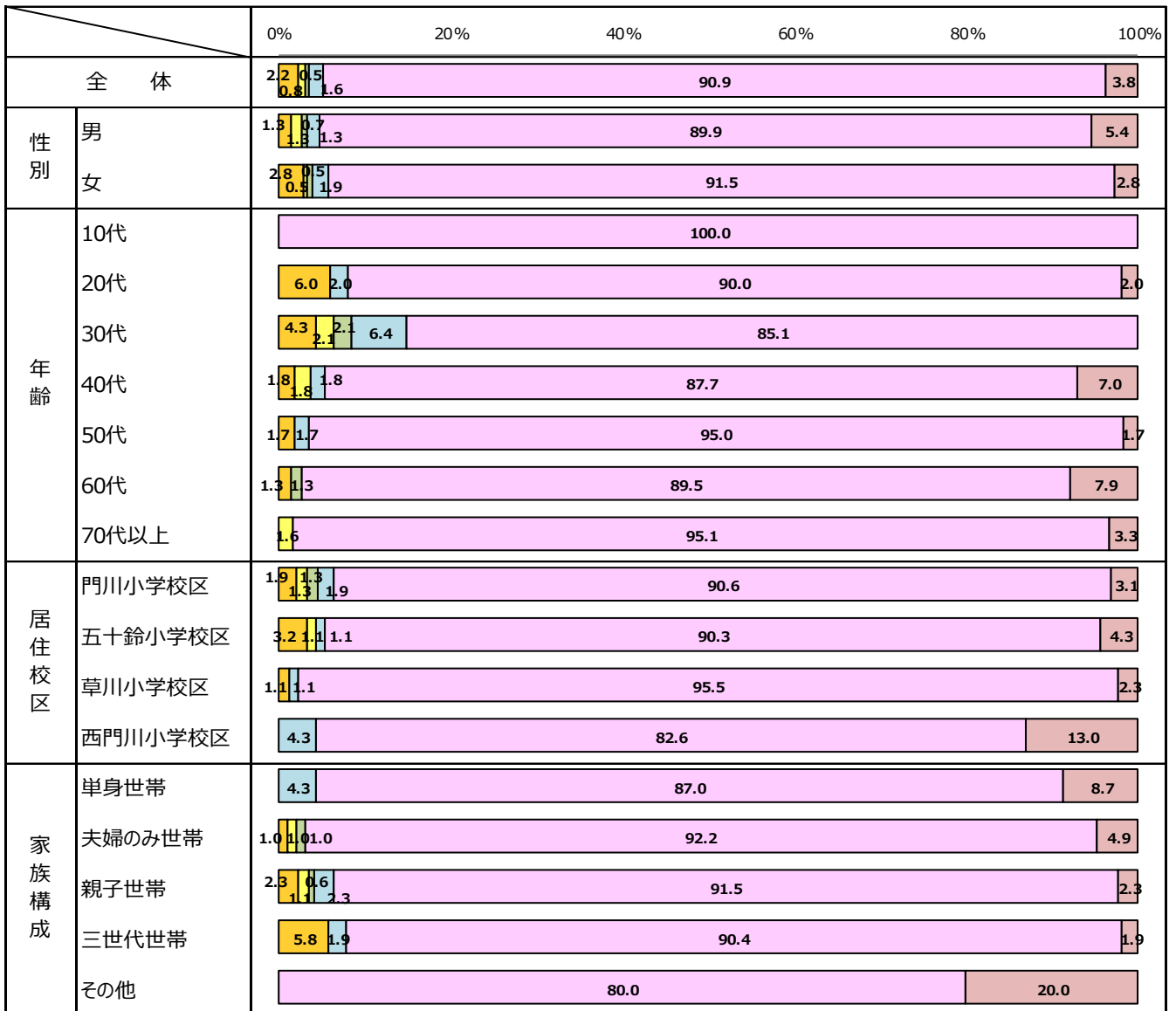


■ ほぼ毎日 ■ 週に数回程度 ■ 月に数回程度 ■ 年に数回程度 ■ ほとんど利用しない ■ 無回答

⑥子育て支援施設（子育て人づくりセンター、平城保育所、西門川児童館）

年に数回程度以上利用している利用率は5.1%で、9割以上がほとんど利用していません。
 性別にみると、男性より女性の方が利用率は高くなっています。
 年齢別にみると、30代の利用率が高くなっています。
 居住校区別にみると、門川小学校区の利用率が最も高くなっています。
 家族構成別にみると、三世代世帯の利用率が最も高くなっています。

- ・ ほぼ毎日 2.2%
 - ・ 週に数回程度 0.8%
 - ・ 月に数回程度 0.5%
 - ・ 年に数回程度 1.6%
- 利用率 5.1%**
- ・ ほとんど利用しない 90.9%

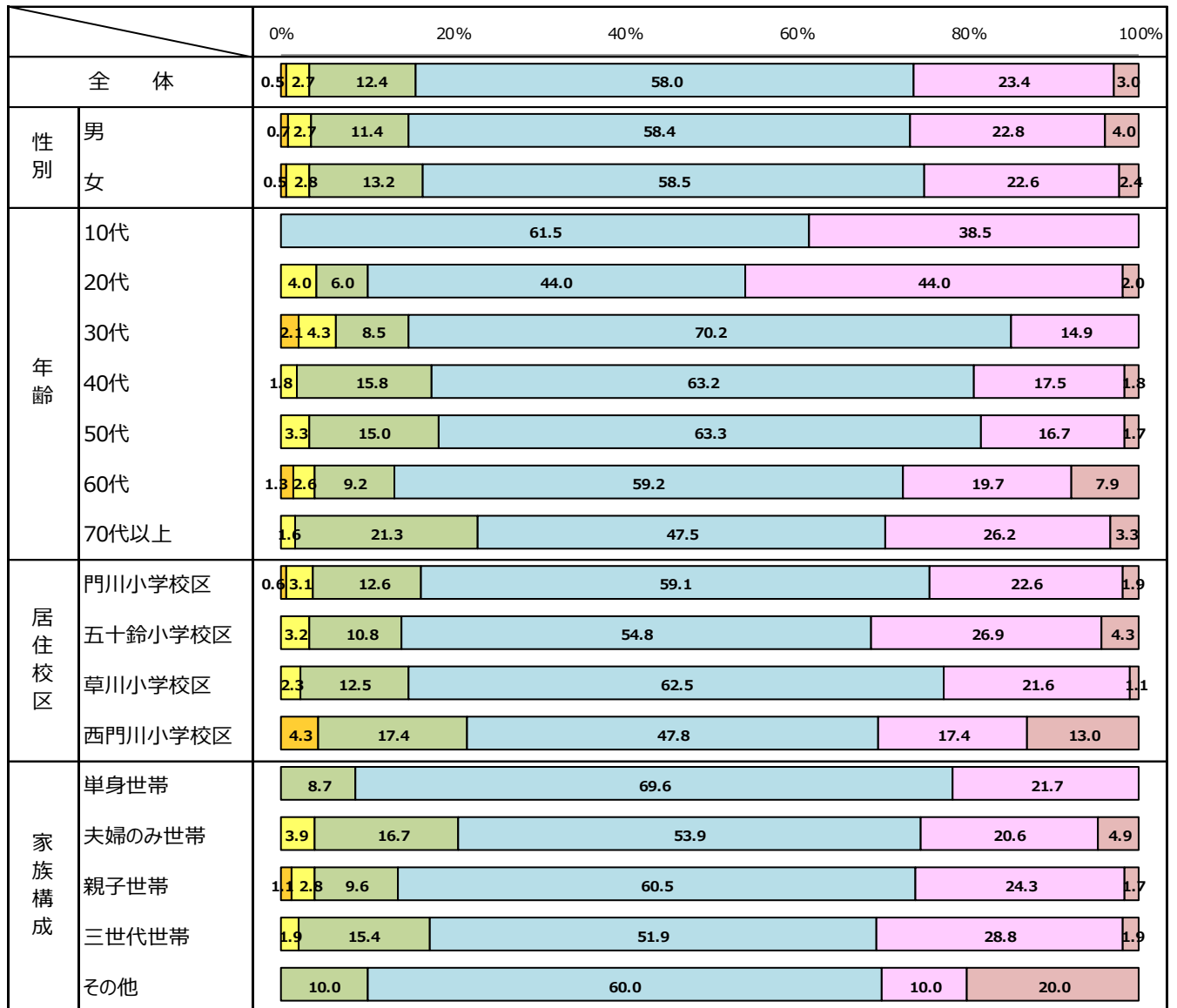


■ ほぼ毎日 ■ 週に数回程度 ■ 月に数回程度 ■ 年に数回程度 ■ ほとんど利用しない ■ 無回答

⑦行政系施設（門川町役場）

年に数回程度以上利用している利用率は、73.6%となっています。
 性別にみると、男性より女性の方が利用率は高くなっています。
 年齢別にみると、30代の利用率が最も高くなっています。
 居住校区別にみると、草川小学校区と門川小学校区の利用率が高くなっています。
 家族構成別にみると、単身世帯の利用率が高くなっています。

- ・ほぼ毎日 0.5%
- ・週に数回程度 2.7%
- ・月に数回程度 12.4%
- ・年に数回程度 **58.0%**
- 利用率 73.6%**
- ・ほとんど利用しない 23.4%



■ほぼ毎日 ■週に数回程度 ■月に数回程度 ■年に数回程度 ■ほとんど利用しない ■無回答

⑧産業系施設（五十鈴農産加工センター）

年に数回程度以上利用している利用率は3.3%で、9割以上がほとんど利用していません。
 性別にみると、男性より女性の方が利用率は高くなっています。
 年齢別にみると、60代、70代以上の利用率が高く、10代、20代はほとんど利用していません。
 居住校区別にみると、五十鈴小学校区の利用率が若干低くなっています。
 家族構成別にみると、単身世帯はほとんど利用していません。

- ・ ほぼ毎日 0.0%
 - ・ 週に数回程度 0.0%
 - ・ 月に数回程度 0.8%
 - ・ 年に数回程度 2.5%
- 利用率 3.3%**
- ・ ほとんど利用しない 93.7%

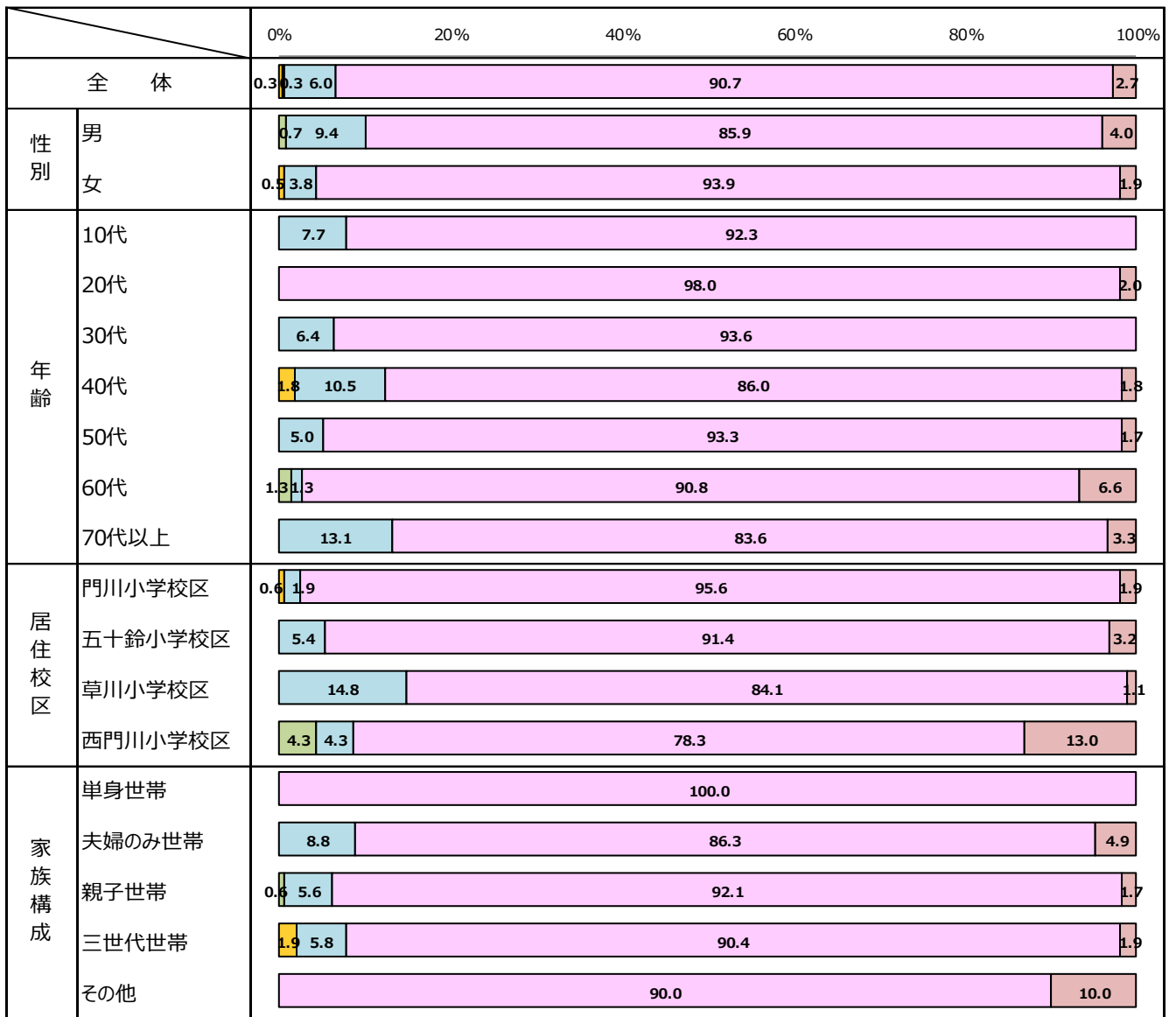


■ ほぼ毎日 ■ 週に数回程度 ■ 月に数回程度 ■ 年に数回程度 ■ ほとんど利用しない ■ 無回答

⑨その他（防災ダム管理施設トイレ、保井ヶ浜公衆便所、上井野健康広場公衆トイレ、旧五十鈴保育所）

年に数回程度以上利用している利用率は6.6%で、9割以上がほとんど利用していません。
 性別にみると、女性より男性の方が利用率は高くなっています。
 年齢別にみると、40代と70代以上の利用率が高くなっています。
 居住校区別にみると、草川小学校区の利用率が高くなっています。
 家族構成別にみると、単身世帯、その他はほとんど利用していません。

- ・ ほぼ毎日 0.3%
 - ・ 週に数回程度 0.0%
 - ・ 月に数回程度 0.3%
 - ・ 年に数回程度 6.0%
- 利用率 6.6%**
- ・ ほとんど利用しない 90.7%



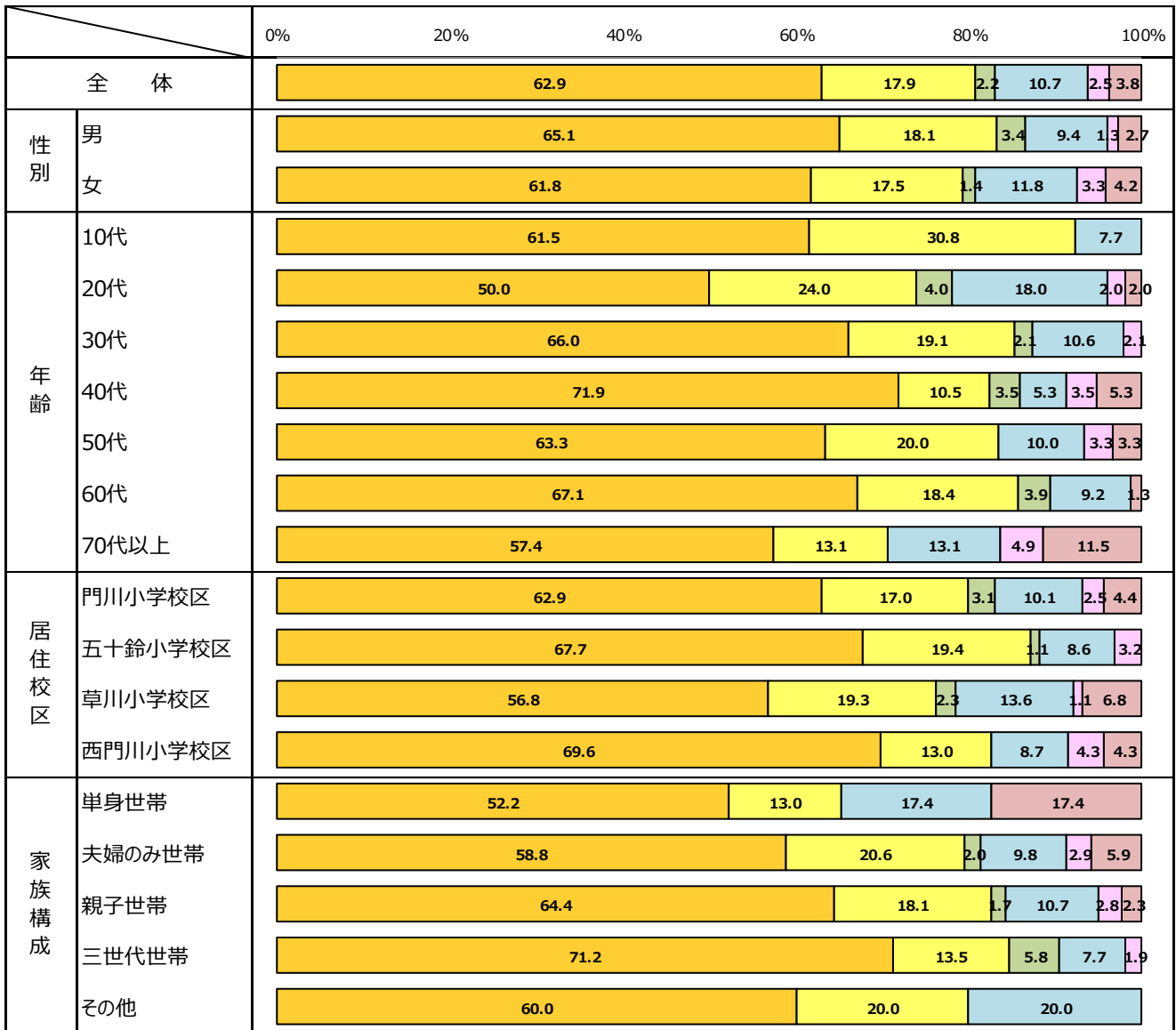
■ ほぼ毎日 ■ 週に数回程度 ■ 月に数回程度 ■ 年に数回程度 □ ほとんど利用しない □ 無回答

(3) 公共施設の整備について

Q7 今後、公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきだと考えますか。

今後、公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきかについては、「公共施設の役割や利用人数を評価して、町民ニーズに見合った内容に減らすべき」が最も多くっており、40代では7割を超えています。

- ・公共施設の役割や利用人数を評価して、町民ニーズに見合った内容に減らすべき・・・62.9%
- ・既存の公共施設を現在のまま維持し老朽化した建物は同規模で建て替えるべき・・・17.9%
- ・公共施設はまだ不足しているので、今後も多くの施設を建てるべき・・・2.2%



- 公共施設の役割や利用人数を評価して、町民ニーズや財政状況に見合った内容に減らすべき
- 既存の公共施設を現在のまま維持し老朽化した施設は同規模で建て替えるべき
- 公共施設はまだ不足しているので、今後も多くの施設を建てるべき
- わからない
- その他
- 無回答

その他の回答

- 古い建物はなくして、安全な場所へ複合化して建設すればよい
- 減らすを基本に他に町民が望んでいる施設はないかも考える
- 減らすをふまえつつ、ただ減らすのではなく災害時に利用できる様、必要に応じて整備・改修していく
- 町内の利用者だけでなく、町外の方が利用できる施設を建てると良いと思う（スポーツ施設）。綾町などは土日など町外の方が多し
- 人口も減ってきているので大型化せず、ほどほどに中型・小型にムダをなくし、少しでも金のかからないようにする
- 減らす+残す物は耐震補強などして、少なく残った建物を多目的に使えるようにする
などがありました。

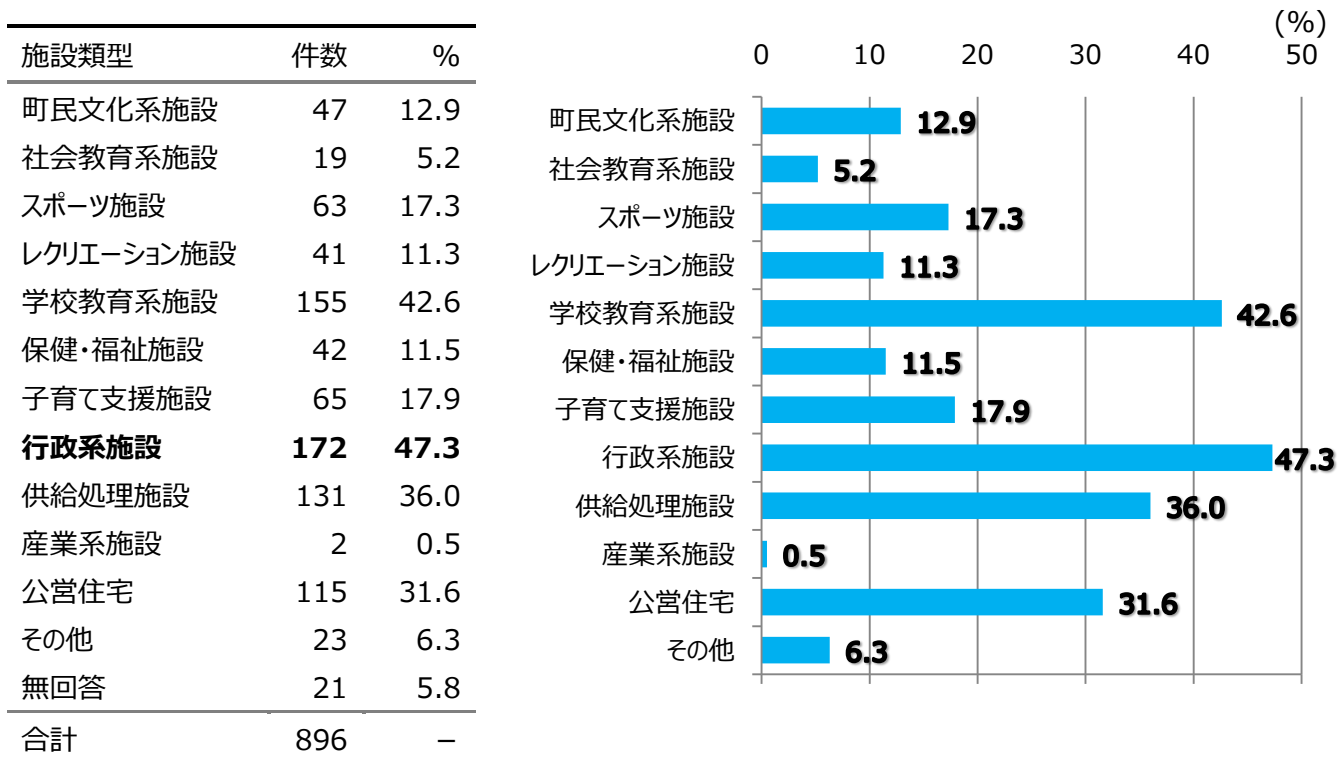


(4) 施設改修の優先度について

Q8 優先的に改修を行う必要があると思う施設はどれですか。(最大3つまで選択可)

優先的に改修を行う必要があると思う施設については、「行政系施設」「学校教育系施設」「供給処理施設」「公営住宅」の順となっています。

年齢別にみると、10代では、「スポーツ施設」「レクリエーション施設」、20代では「子育て支援施設」「公営住宅」、30代では「公営住宅」、40代では「学校教育系施設」「供給処理施設」、50代では「供給処理施設」が全体よりも10ポイント以上高くなっているのが特徴的です。



施設類型一覧

町民文化系施設	中央公民館、平城団地集会所、宮ヶ原教育集会所、総合文化会館、西門川総合活性化センター
社会教育系施設	町立図書館
スポーツ施設	武道館、勤労者総合福祉センター「クリエイティブセンター」、勤労者体育センター「宮ヶ原」、海浜総合公園
レクリエーション施設	福祉健康交流研修センター「心の杜」、乙島キャンプ場
学校教育系施設	門川小学校、西門川小学校、五十鈴小学校、草川小学校、門川中学校、西門川中学校
保健・福祉施設	門川町総合福祉センター
子育て支援施設	子育て人づくりセンター、平城保育所、西門川児童館
行政系施設	門川町役場
供給処理施設	清掃工場、衛生センター
産業系施設	庵川西住宅、庵川東住宅、小園住宅、橋ノ口住宅、平城住宅、西ノ山住宅、宮ヶ原住宅、栄ヶ丘住宅、町内の小中学校長住宅
公営住宅	五十鈴農産加工センター
その他	防災ダム管理施設トイレ、保井ヶ浜公衆便所、上井野健康広場公衆トイレ、旧五十鈴保育所

【属性別の状況】

単位：%

		町民文化系施設	社会教育系施設	スポーツ施設	レクリエーション施設	学校教育系施設	保健・福祉施設	子育て支援施設	行政系施設	供給処理施設	産業系施設	公営住宅	その他	無回答
全 体		12.9	5.2	17.3	11.3	42.6	11.5	17.9	47.3	36.0	0.5	31.6	6.3	5.8
性別	男	12.1	6.7	20.1	10.1	44.3	12.1	18.1	52.3	40.3	0.7	26.8	6.7	4.0
	女	13.7	4.2	15.6	11.3	42.0	10.8	17.5	44.3	32.5	0.5	34.9	6.1	7.1
年齢	10代	15.4	7.7	61.5	23.1	46.2	0.0	15.4	38.5	7.7	0.0	15.4	7.7	0.0
	20代	16.0	4.0	6.0	14.0	38.0	12.0	30.0	46.0	20.0	0.0	44.0	10.0	4.0
	30代	10.6	6.4	14.9	12.8	44.7	0.0	25.5	38.3	42.6	0.0	44.7	4.3	6.4
	40代	8.8	5.3	22.8	7.0	52.6	17.5	14.0	45.6	47.4	0.0	29.8	5.3	1.8
	50代	8.3	10.0	20.0	13.3	35.0	6.7	10.0	51.7	50.0	0.0	25.0	3.3	3.3
	60代	14.5	3.9	17.1	6.6	44.7	13.2	21.1	47.4	27.6	2.6	35.5	10.5	6.6
	70代以上	18.0	1.6	11.5	13.1	39.3	19.7	9.8	54.1	36.1	0.0	18.0	3.3	13.1
居住校区	門川小学校区	13.2	6.3	20.1	12.6	40.9	7.5	17.0	44.0	32.7	1.3	30.8	6.3	7.5
	五十鈴小学校区	15.1	3.2	9.7	4.3	45.2	14.0	26.9	59.1	39.8	0.0	36.6	5.4	1.1
	草川小学校区	6.8	3.4	22.7	14.8	47.7	10.2	12.5	43.2	40.9	0.0	26.1	5.7	5.7
	西門川小学校区	26.1	13.0	8.7	17.4	26.1	34.8	8.7	39.1	26.1	0.0	34.8	13.0	13.0
家族構成	単身世帯	26.1	8.7	21.7	8.7	43.5	26.1	0.0	43.5	30.4	0.0	34.8	0.0	4.3
	夫婦のみ世帯	12.7	5.9	15.7	9.8	36.3	11.8	18.6	50.0	29.4	1.0	31.4	6.9	7.8
	親子世帯	9.6	4.5	17.5	8.5	49.2	9.6	17.5	47.5	40.1	0.0	32.2	5.1	4.5
	三世帯世帯	17.3	3.8	17.3	25.0	34.6	11.5	28.8	40.4	38.5	0.0	28.8	13.5	5.8
	その他	20.0	10.0	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0	60.0	30.0	10.0	30.0	0.0	10.0

赤字 は、全体よりも10ポイント以上高いもの（「無回答」は除く）

(5) 今後の施設のあり方について

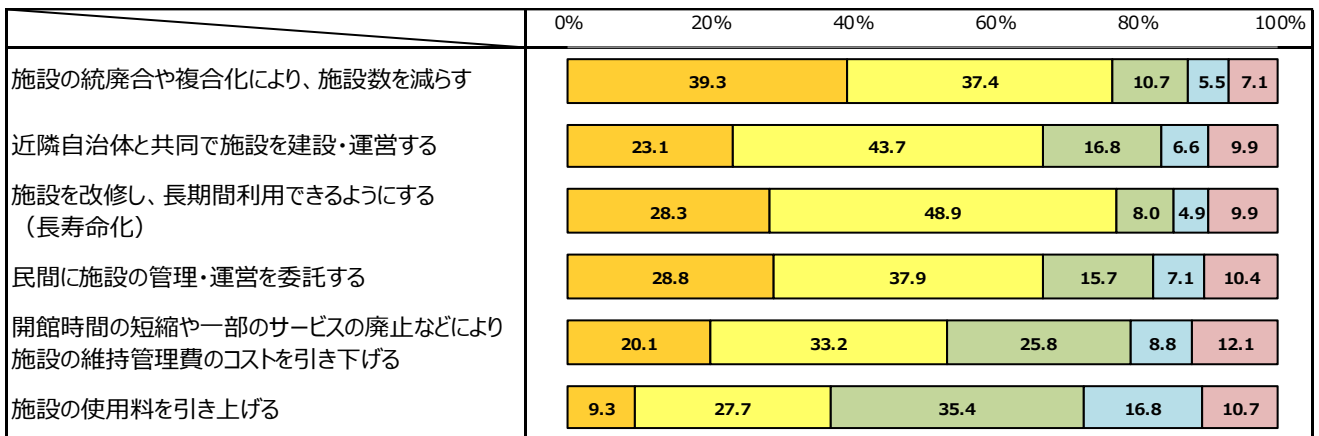
Q9 人口減少や少子高齢化が進行する中、どのような方策をとるべきだと考えますか。

人口減少や少子高齢化が進行する中、どのような方策をとるべきかについては、実施すべき（積極的に実施すべき＋どちらかといえば実施すべき）と回答した割合は「施設を改修し、長期間利用できるようにする」が最も高く、次いで「施設の統廃合や複合化により、施設数を減らす」となっています。

「施設の使用料を引き上げる」という意見は低くなっています。

【積極的に実施すべき＋どちらかといえば実施すべきと回答した割合】

- ・施設を改修し、長期間利用できるようにする・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77.2%
- ・施設の統廃合や複合化により、施設数を減らす・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76.7%
- ・近隣自治体と共同で施設を建設・運営する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66.8%
- ・民間に施設の管理・運営を委託する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66.7%
- ・開館時間の短縮や一部のサービスの廃止などにより施設の維持管理費のコストを引き下げる
・・ 53.3%
- ・施設の使用料を引き上げる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37.0%



- 積極的に実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきでない
- 実施すべきでない
- 無回答



【方策別状況】

①施設の統廃合や複合化により、施設数を減らす

実施すべき(積極的に実施すべき+どちらかといえば実施すべき)と回答した実施肯定率は、76.7%となっており、「積極的に実施すべき」が最も高くなっています。

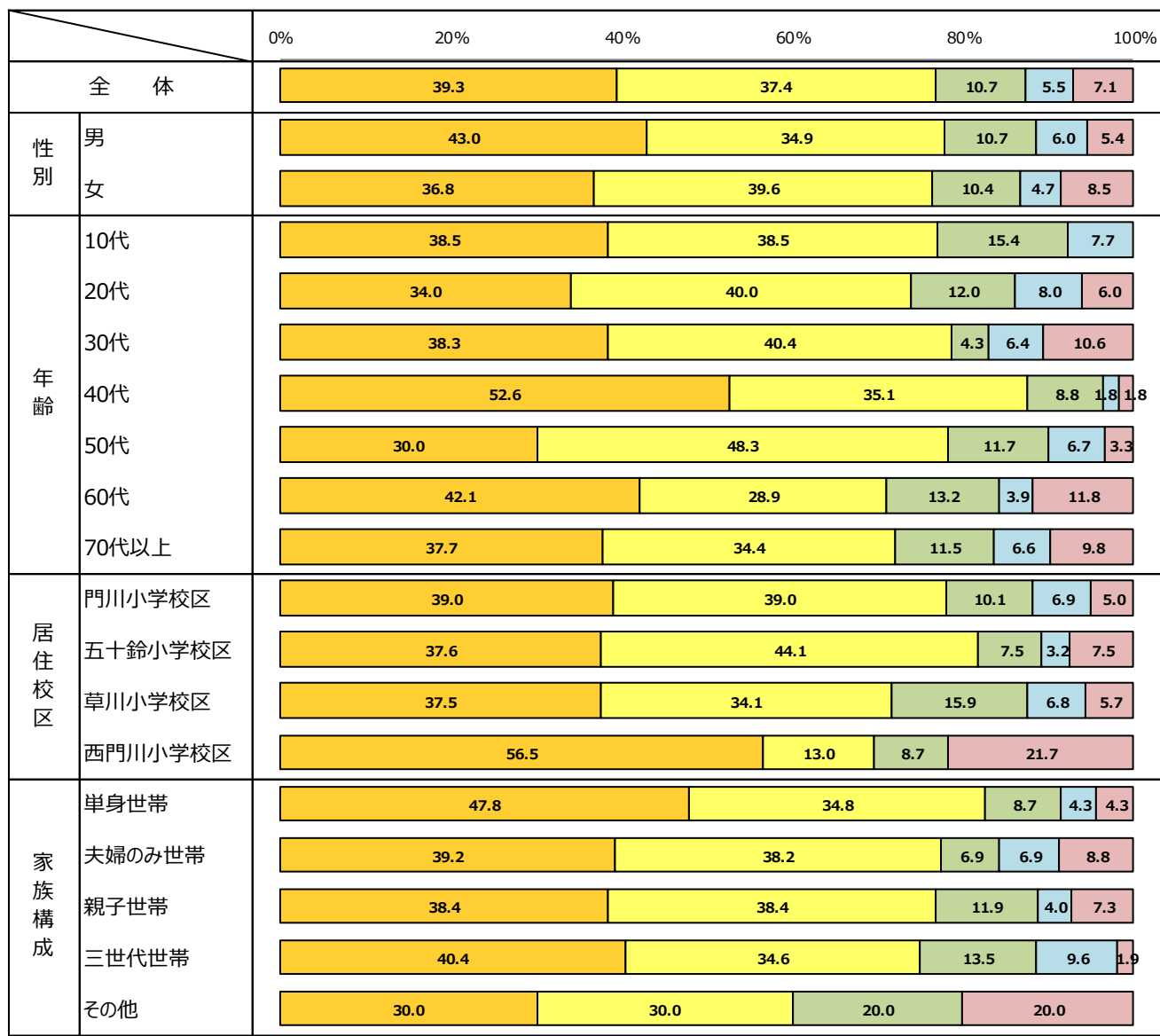
性別にみると、女性より男性の方が実施肯定率は高くなっています。

年齢別にみると、40代で実施肯定率が最も高くなっています。

居住校区别にみると、五十鈴小学校区で実施肯定率が最も高くなっています。

家族構成別にみると、単身世帯で実施肯定率が最も高くなっています。

・積極的に実施すべき	39.3%
・どちらかといえば実施すべき	37.4%
肯定率 76.7%	
・どちらかといえば実施すべきではない	10.7%
・実施すべきではない	5.5%



- 積極的に実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきでない
- 実施すべきでない
- 無回答

②近隣自治体と共同で施設を建設・運営する

実施すべき(積極的に実施すべき+どちらかといえば実施すべき)と回答した実施肯定率は、66.8%となっており、「どちらかといえば実施すべき」が最も高くなっています。

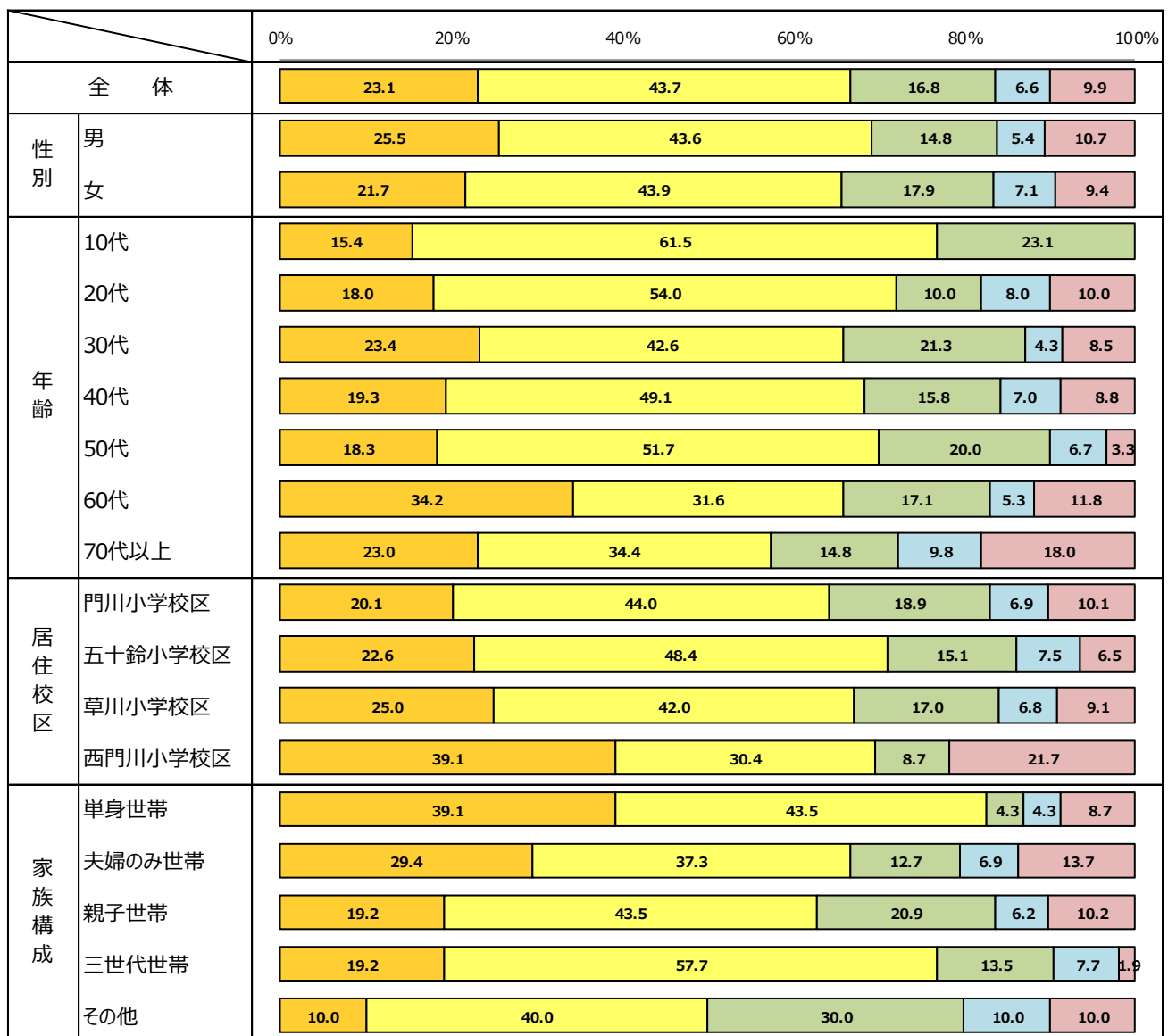
性別にみると、女性より男性の方が実施肯定率は高くなっています。

年齢別にみると、10代で実施肯定率が最も高くなっています。

居住校區別にみると、五十鈴小学校区で実施肯定率が最も高くなっています。

家族構成別にみると、単身世帯で実施肯定率が最も高くなっています。

- ・積極的に実施すべき・・・・・・・・・・23.1%
- ・**どちらかといえば実施すべき・・・・・・・・・・43.7%**
- 肯定率 66.8%**
- ・どちらかといえば実施すべきではない・・・・・・・・・・16.8%
- ・実施すべきではない・・・・・・・・・・6.6%



- 積極的に実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきでない
- 実施すべきでない
- 無回答

③施設を改修し、長期間利用できるようにする（長寿命化）

実施すべき（積極的に実施すべき＋どちらかといえば実施すべき）と回答した実施肯定率は、77.2%となっており、「どちらかといえば実施すべき」が最も高くなっています。

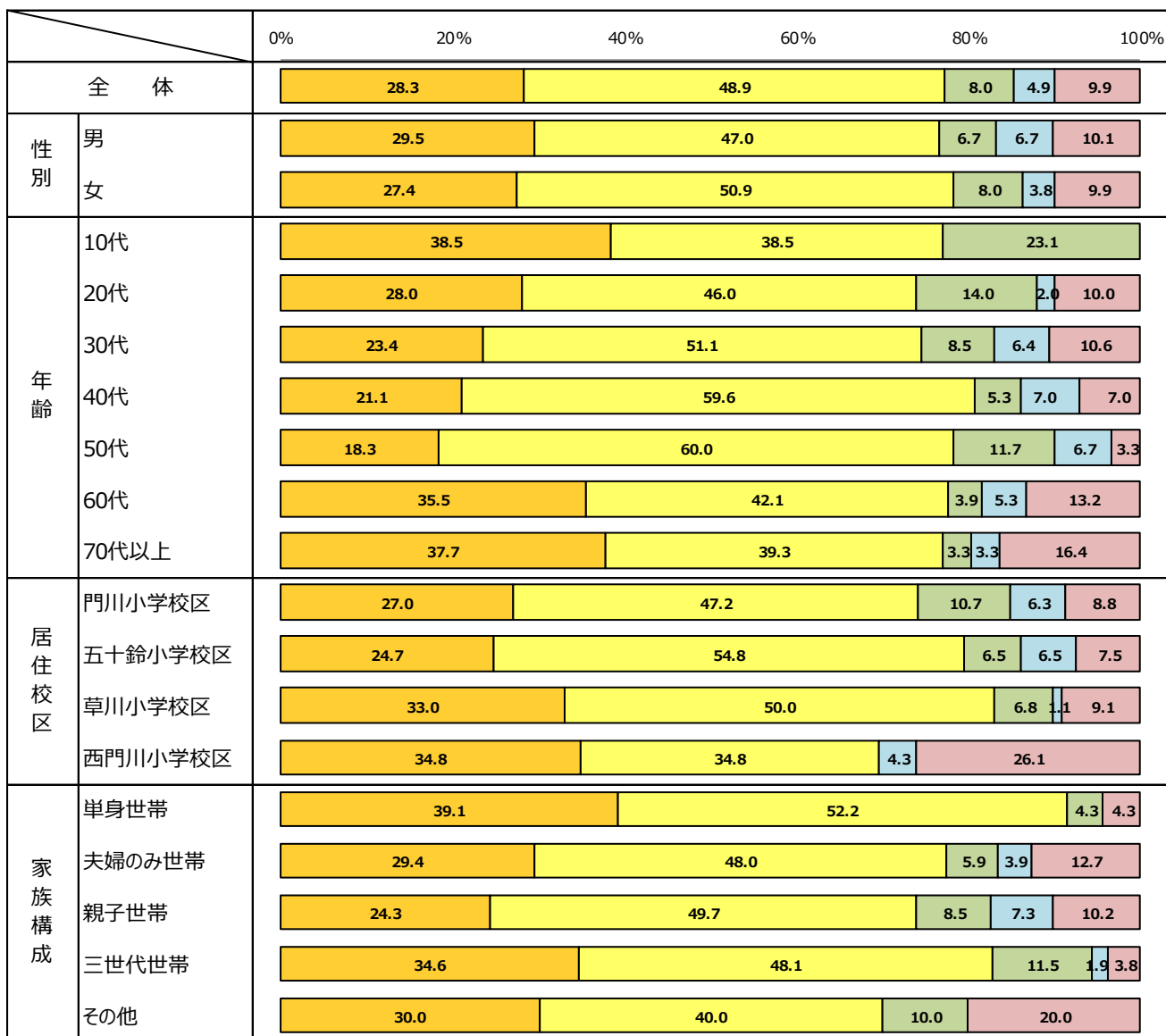
性別にみると、男性より女性の方が実施肯定率は高くなっています。

年齢別にみると、40代で実施肯定率が最も高くなっています。

居住校區別にみると、草川小学校区で実施肯定率が最も高くなっています。

家族構成別にみると、単身世帯で実施肯定率が最も高くなっています。

- ・積極的に実施すべき・・・・・・・・・・・・・・・・・・28.3%
- ・**どちらかといえば実施すべき・・・・・・・・・・・・・・・・・・48.9%**
- 肯定率 77.2%**
- ・どちらかといえば実施すべきではない・・・・・・・・・・8.0%
- ・実施すべきではない・・・・・・・・・・・・・・・・・・4.9%



- 積極的に実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきでない
- 実施すべきでない
- 無回答

④民間に施設の管理・運営を委託する

実施すべき(積極的に実施すべき+どちらかといえば実施すべき)と回答した実施肯定率は、66.7%となっており、「どちらかといえば実施すべき」が最も高くなっています。

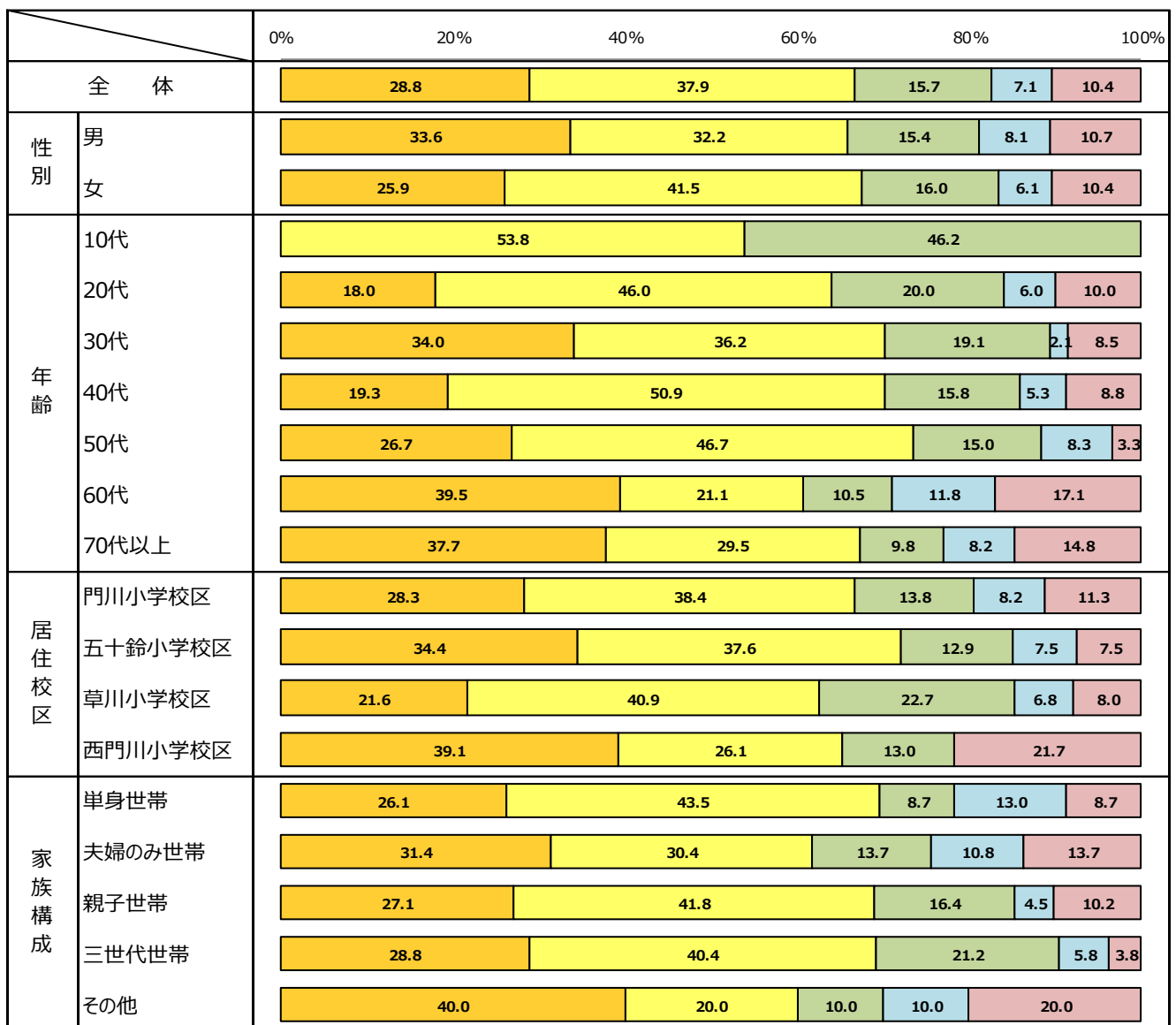
性別にみると、男性より女性の方が実施肯定率は高くなっています。

年齢別にみると、50代で実施肯定率が最も高くなっています。

居住校区別にみると、五十鈴小学校区で実施肯定率が最も高くなっています。

家族構成別にみると、単身世帯、親子世帯、三世帯世帯で実施肯定率が高くなっています。

・積極的に実施すべき	28.8%
・ どちらかといえば実施すべき	37.9%
	肯定率 66.7%
・どちらかといえば実施すべきではない	15.7%
・実施すべきではない	7.1%



- 積極的に実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきでない
- 実施すべきでない
- 無回答

⑤開館時間の短縮や一部のサービスの廃止などにより施設の維持管理のコストを引き下げる

実施すべき(積極的に実施すべき+どちらかといえば実施すべき)と回答した実施肯定率は、53.3%となっており、「どちらかといえば実施すべき」が最も高くなっています。

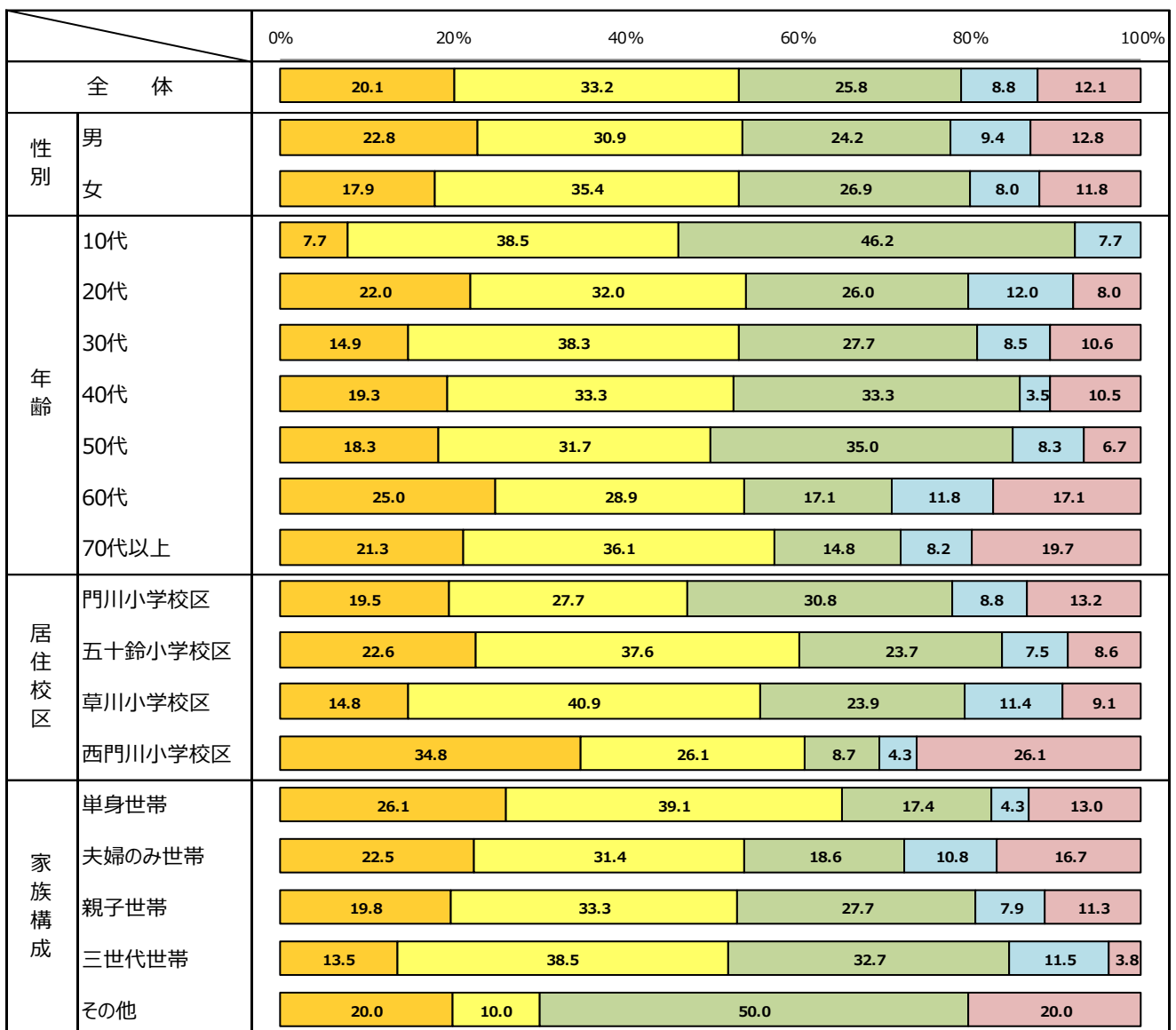
性別にみると、実施肯定率は同程度となっています。

年齢別にみると、70代以上で実施肯定率が最も高くなっています。

居住校區別にみると、五十鈴小学校区、西門川小学校区で実施肯定率が高くなっています。

家族構成別にみると、単身世帯で実施肯定率が最も高くなっています。

- ・積極的に実施すべき 20.1%
- ・**どちらかといえば実施すべき 33.2%**
- 肯定率 53.3%**
- ・どちらかといえば実施すべきではない 25.8%
- ・実施すべきではない 8.8%



- 積極的に実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきでない
- 実施すべきでない
- 無回答

⑥施設の使用料を引き上げる

実施すべき(積極的に実施すべき+どちらかといえば実施すべき)と回答した実施肯定率は、37.0%となっており、「どちらかといえば実施すべきでない」が最も高くなっています。

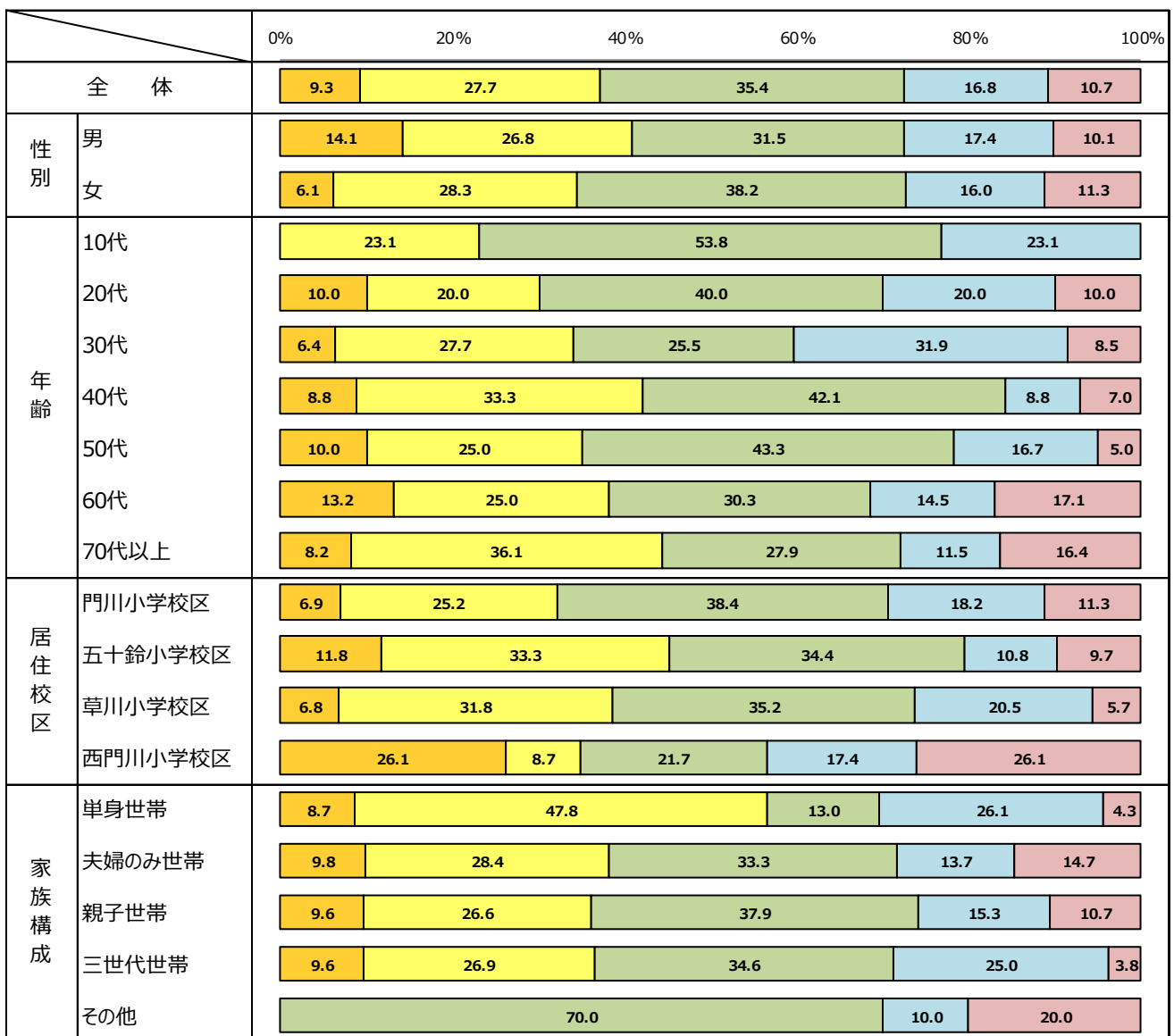
性別にみると、女性より男性の方が実施肯定率は高くなっています。

年齢別にみると、40代、70代以上で実施肯定率が高くなっています。

居住校區別にみると、五十鈴小学校区で実施肯定率が最も高くなっています。

家族構成別にみると、単身世帯で実施肯定率が最も高くなっています。

- ・積極的に実施すべき・・・・・・・・・・9.3%
- ・どちらかといえば実施すべき・・・・・・・・・・27.7%
- 肯定率 37.0%**
- ・どちらかといえば実施すべきではない・・・・・・・・・・35.4%
- ・実施すべきではない・・・・・・・・・・16.8%



- 積極的に実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきでない
- 実施すべきではない
- 無回答

(6) 施設の統廃合、再編成について

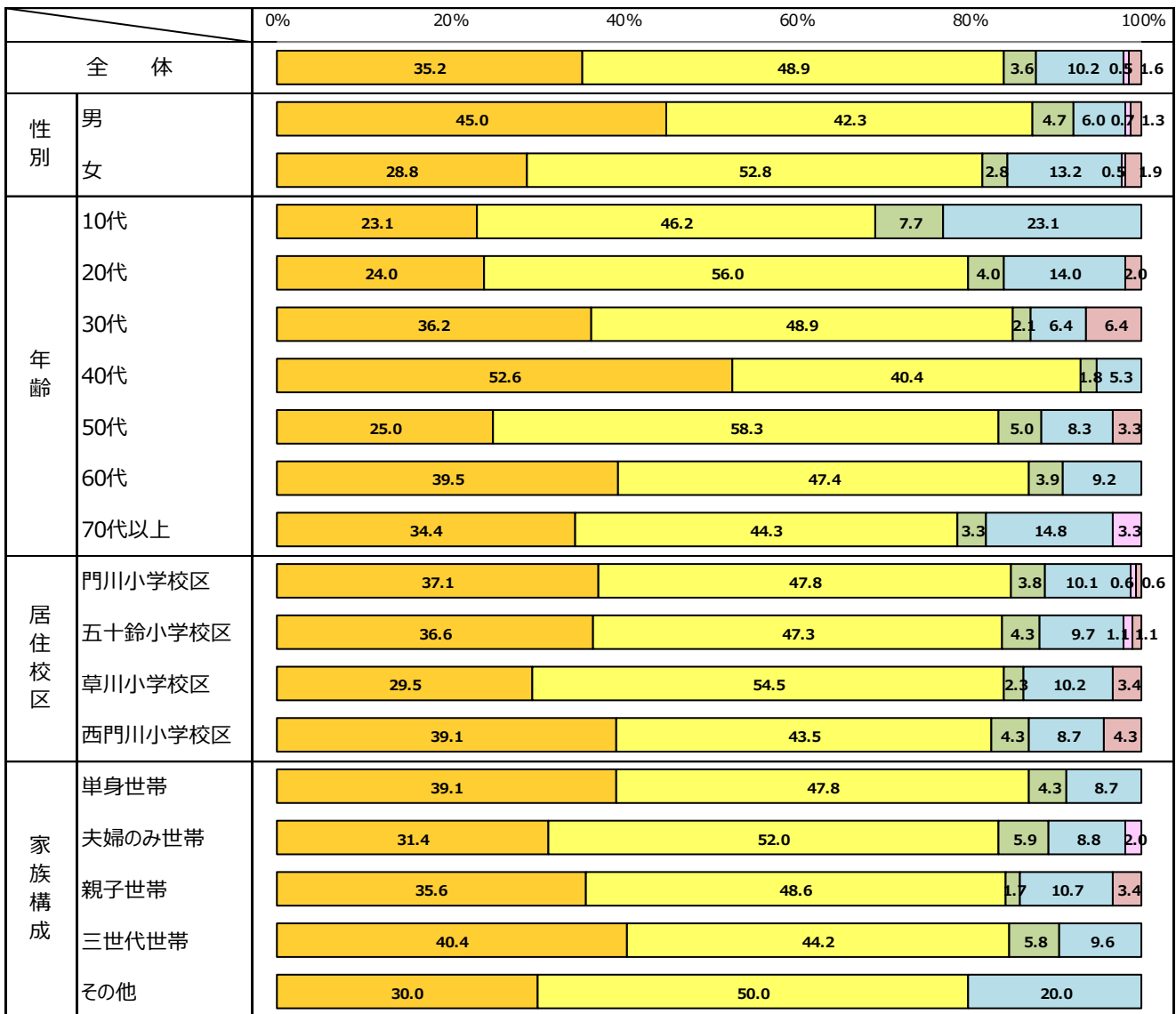
Q10 公共施設等の現状から、多くの自治体が施設の統廃合など再編成の取り組みを始めています。再編成の取り組みをすることについてどう考えますか。

公共施設等の現状から、多くの自治体が施設の統廃合など再編成の取り組みを始めています。再編成の取り組みをすることについてどう考えるかについては、「賛成できる」と「現在の状況を考えるとある程度までは賛成できる」と回答した賛成率は8割を超えています。

性別にみると、女性より男性の方が賛成率は高くなっています。

年齢別にみると、40代の賛成率が最も高くなっています。

- ・ 賛成できる 35.2%
- ・ 現在の状況を考えるとある程度までは賛成できる 48.9%
- 賛成率 84.1%**
- ・ 賛成できないので取り組むべきではない 3.6%



- 賛成できる
- 現在の状況を考えるとある程度までは賛成できる
- 賛成できないので取り組みべきではない
- わからない
- その他
- 無回答

その他の回答

- 統廃合により、地区によっては差別につながる
- 統廃合・再編成によりサービスが低下しないのであればある程度までは賛成とする
- 統廃合には賛成だが、だからと云って新たに建設すべきではない
などがありました。



門川町の公共施設（建築物）に関するアンケート
～今後の公共施設のあり方を検討していくために～
アンケート調査結果報告書

平成 28 年 12 月

発 行 宮崎県門川町

編 集 門川町財政課

〒889-0696 宮崎県門川町本町 1 丁目 1 番地

TEL 0982-63-1140 FAX 0982-63-1356